

平成 30 年 6 月 27 日

各 位

会 社 名 三井海洋開発株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 宮崎 俊郎
(コード番号 6269 東証第1部)
問 合 せ 先 総務部 (TEL. 03-5290-1200)

ガーナ共和国での感染症研究へのグループ会社 MV25 社による支援について

三井海洋開発株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:宮崎俊郎)は、同社が設立し 20.1%株式を出資する T.E.N. Ghana MV 25 B.V.社(以下「MV25 社」)のパートナー各社と共同で、2018 年 5 月 18 日、東京医科歯科大学がガーナ大学附属野口記念医学研究所共同研究センター(以下「野口研」)で実施する感染症研究を対象にした寄付金 25 万米ドルを同大学に提供しました。

MV25 社は、ガーナ共和国西部の沖合約 60km に位置する Deepwater Tano 地区の TEN(Tweneboa, Enyenra, Ntomme) 鉱区オペレーターである Tullow Ghana Limited 社向けに、FPSO(Floating Production, Storage & Offloading System:浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備)1 基のチャーターサービス(リース及び運転・保守点検等のオペレーション)を提供しています。同国前大統領のジョン・エバンズ・アッタ・ミルズ氏にちなんで“FPSO Prof. John Evans Atta Mills”と命名された本 FPSO は、水深約 1,500m の海上に係留され、2016 年より原油および天然ガスの生産を行っています。MV25 社はこうした事業を通じ同国の産業育成に寄与すると共に、同国と日本との友好関係の強化や、同国の発展に役立つ社会貢献プログラムを模索してきました。

ガーナは野口英世博士が黄熱病研究の途上で客死した地であり、野口研は日本と西アフリカの医学交流拠点として重要な役割を担っています。MV25 社は両国の医学研究の懸け橋となる拠点における研究への寄付金提供を通じ、日本とガーナ共和国の更なる関係強化と、医療研究の発展に貢献してまいります。

なお、三井海洋開発株式会社は、同国沖に設置される初めての FPSO として 2010 年に原油および天然ガスの生産を開始した“FPSO Kwame Nkrumah MV21”の設計から機器購入、建造、据付までの一括工事を行うと共に、その後のオペレーション&メンテナンス(運転・保守点検)サービスを提供しており、“FPSO Prof. John Evans Atta Mills”を含む計 2 基の FPSO の建造ならびにオペレーション事業を通じ、10 年間にわたって、現地のサプライヤーの開拓や人材育成プログラムへの投資を積極的に行ってきました。

<参考>MV25 社の株主構成

三井海洋開発株式会社	20.1%
三井物産株式会社	30.0%
株式会社商船三井	20.0%
丸紅株式会社	25.0%
株式会社三井 E&S ホールディングス	4.9%

三井海洋開発株式会社について

三井海洋開発(MODEC)は、海洋石油・ガス開発プロジェクトに用いられる浮体式海洋石油・ガス生産設備の建造、チャーター、オペレーション&メンテナンスサービスを提供する日本で唯一の企業です。

<http://www.modec.com/jp>